

団体名	公益財団法人 仙台観光国際協会	助成金名：多文化共生のまちづくり促進事業	ジャンル
		事業費総額 2,097 千円	意識啓発・地域づくり

事業名 **多文化共生の地域づくりに向けた意識啓発ツールの制作**

特徴 留学生など外国人住民への生活上の意識啓発について「防災」「ごみ」の他に「交通」をテーマとして取り上げ、関係団体と協働して多言語交通安全ビデオ「自転車ルール 知っていますか？」を制作した。また『まちなか多文化かわら版』を制作・発行し、主に町内会などの地域住民向けに多文化社会についての啓発を図った。

### 事業のポイント

- ◇ 町内会（自治会）へのインタビューなどを通じて多文化化する地域社会の課題共有を図り、「防災」「ごみ」「交通」について意識啓発を図ることとした。
- ◇ 留学生など外国人住民に交通ルールの徹底を意識してもらうため、多言語交通安全ビデオ「自転車ルール 知っていますか？」を日本語学校等の協力を得て制作した。
- ◇ 外国人住民だけではなく、日本人住民にも多文化社会への理解を深めてもらえるように「まちなか多文化かわらばん」を制作・発行した。

### 事業の背景・目的

- ◇ 仙台市には約1万人の外国人が暮らしており、留学生はその約3割を占める。日常生活で、ごみ出し、騒音、交通安全など、習慣等の違いから日本人住民とのトラブルが起り、町内会からの苦情が寄せられることがある。一方で、東日本大震災をきっかけに外国人住民の立場に立って暮らしやすいまちづくりをしたいと考える自治会も出てきている。そのような背景から多文化共生の地域づくりの一環として本事業を実施した。

### 事業の概要

- 交通：多言語交通安全ビデオ「自転車ルール 知っていますか？」  
日本の交通ルールに不慣れな外国人住民を主な対象として、自転車の安全な乗り方について映像資料により分かりやすく伝えるとともに、ルールやマナーの順守を促すこととした。  
言語：日本語、中国語、英語、ネパール語、ベトナム語
- 防災：多言語リーフレット「防災訓練のポイント」  
当協会では外国人住民に地域防災への参加を促しているが、より効果的な訓練が実施できるよう、外国人住民や通訳ボランティアを対象に訓練のポイントを多言語で簡潔に説明する資料を作成した。  
言語：日本語、中国語、英語、韓国語、ネパール語、ベトナム語
- ごみ：ごみ出しルールシート 多言語版  
留学生などの外国人住民がごみ出しのルールを守らないといった苦情が町内会から当協会や自治体に寄せられることが多いことから、町内会と連携してルールシートを作成し、町内に掲示することとした。また地域ごとに異なる収集曜日に対応可能なシートも作成し、市内全町内会へのサンプル配布を行うこととした。  
言語：日本語、中国語、英語、韓国語、ネパール語、ベトナム語
- 多文化共生の啓発：広報誌「まちなか多文化かわら版」  
地域における外国人住民が関わる問題を解決していくためには、外国人住民だけの努力ではなく、受入側の地域住民も理解を深めていく必要がある。また、自治体や当協会の支援について情報が行き届かず、外国人住民への対応に苦慮している自治会もあると考えられる。そこで、主に自治会役員等を読者に想定し、マンガやイラスト等を用いたわかりやすい多文化共生の広報誌を作成することとした。広報誌は「防災」「交通」「ごみ」をテーマに3号作成し、市内全町内会に配布した。



多言語交通安全ビデオの撮影の様子



多言語交通安全ビデオのナレーション収録の様子

## 事業実施における工夫点・事業の成果等

- ◇ 町内会の関係者から地域に外国人住民が増加することでどのような問題が生じているかについて、くわしく話をうかがうことができ、今後の当協会や仙台市における多文化共生事業を企画・実施するにあたっての参考となった。
- ◇ 今回は町内会や日本語学校、自治体等の関係者との話し合いの中から、「防災」「ごみ」「交通」をテーマとして意識啓発を図るという課題を設定した。そのうえで、「防災」については多言語リーフレット『防災訓練のポイント』を外国人住民の協力を得て制作し、その試行版を町内会が主催する防災訓練で活用した。また、「交通」については、多言語交通安全ビデオ「自転車ルール 知っていますか？」を日本語学校、仙台市関係課、宮城県警、留学生らと協働で制作した。さらに「ごみ」については、仙台市や外国人住民の協力を得て「ごみ出しルールシート多言語版」を制作し、一部の町内会で試行的に活用した。
- ◇ 上記の取り組みや、「防災」「交通」「ごみ」の問題で先進的な取り組みを行う町内会を『多文化かわら版』で紹介することを通じて、「多文化共生」の地域づくりについて他の町内会や関係機関に普及・啓発を行った。
- ◇ 地域からの協力を得るためのポイントとしては、「地域課題を共有する」ということが何よりも重要であると考えられる。そのためにはコーディネーターである国際交流協会職員に課題を設定する力量が求められるとともに、地域住民や自治体職員との対話のプロセスも重要であると捉えることが必要である。



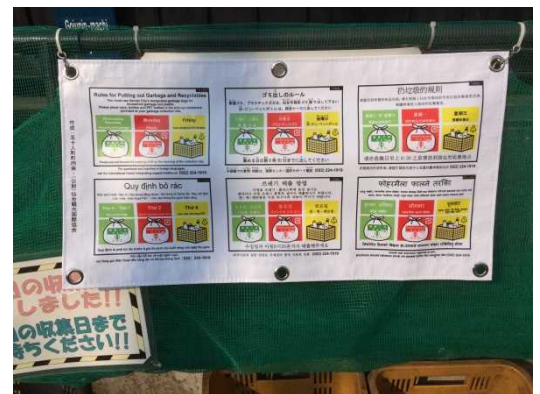
多言語交通安全ビデオ  
「自転車ルール 知っていますか？」



まちなか多文化かわら版 第1号  
「外国人住民と自転車生活」

## 今後の課題・将来に向けての展望等

- ◇ 多言語リーフレット『防災訓練のポイント』、多言語交通安全ビデオ「自転車ルール 知っていますか？」は全国で活用されるよう配慮し制作しており、仙台市内で行われる地域防災訓練や、日本語学校などの生活オリエンテーションで活用するほか、インターネット等を通じて、全国で活用していただけるように呼びかけたい。
- ◇ 「ごみ出しルールシート多言語版」についても一部の自治会に限らず、市内の各町内会で活用いただけるように呼びかけていく予定である。



町内のごみ置き場に掲示された  
「ごみ出しルールシート」

## 事業担当者のふりかえり

- ⇒ 多文化共生の地域づくりにおいて、「防災」「ごみ」「交通」に関する問題はしばしば聞かれることであるが、実際に当事者に話を聴き、問題解決に向けて協働できたことはこの事業の大きな成果であったと思う。
- ⇒ 多文化共生のまちづくりには、本事業に関わった地域だけではなく、他の地域での啓発が欠かせない。その本事業の成果物を他地域でも有効に活用してもらえるように紹介していきたい。